

柏崎刈羽原子力発電所の 今後の取り組みについて

平成16年6月2日
東京電力株式会社

今後のシュラウド点検・保守計画

- 経過観察する下部リングの「ひび」は、次回の定期検査で点検し、以降は隔回毎の定期検査で点検
- 除去した中間胴，サポートリングの「ひび」は、次回の定期検査で点検し、以降は10年に一度の頻度で点検
- その他は、10年に一度の頻度で点検
- 中間胴は、「ひび」発生の可能性が高い環境下にあるため、今後、計画的に応力腐食割れ対策を実施



シュラウドの点検・補修の様子

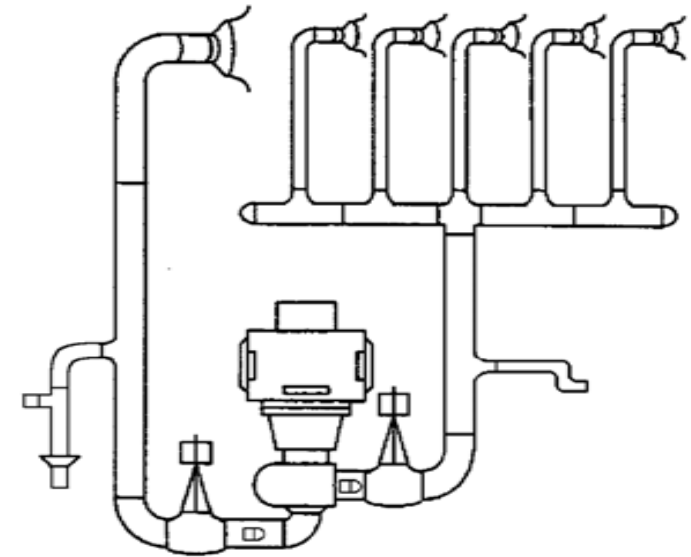
今後の再循環系配管点検・保守計画

今回、取り替えて応力腐食割れ対策を実施した溶接箇所は、これまでの考え方に基_づいて10年間で全溶接箇所の25%を点検

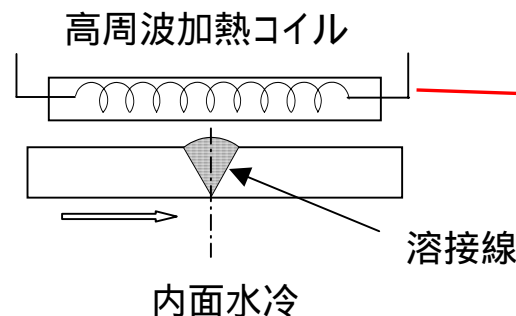
その他の溶接箇所については、5年間で全溶接箇所を点検すると共に、今後、計画的に応力腐食割れ対策を実施

今後の点検に当たっては、改良された超音波測定技術を採用

作業に当たっては、現場環境を十分に整備(「圧力抑制室への異物混入」の教訓を生かして)

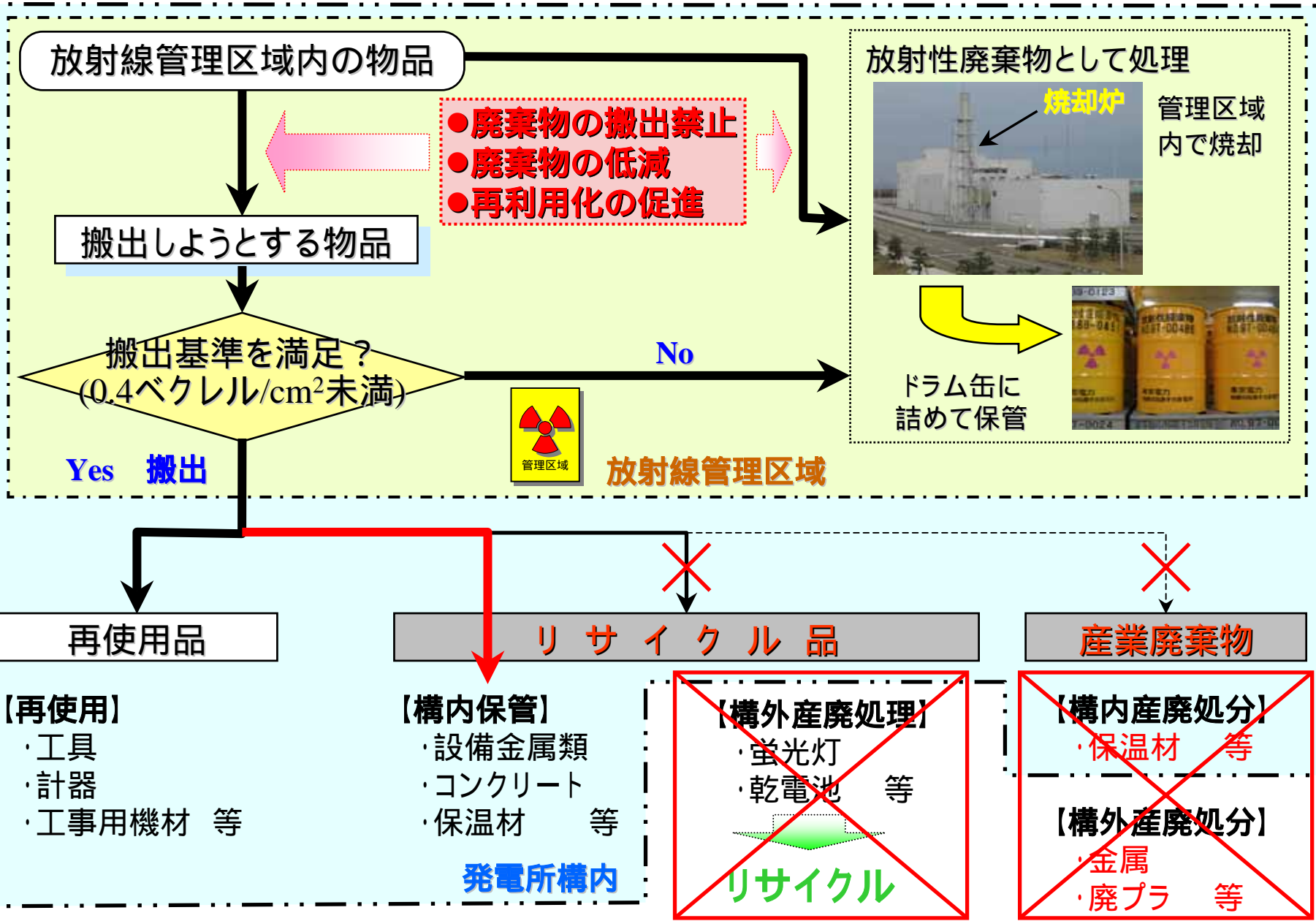


再循環系配管の概要

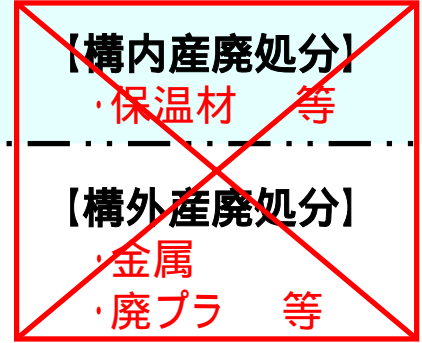
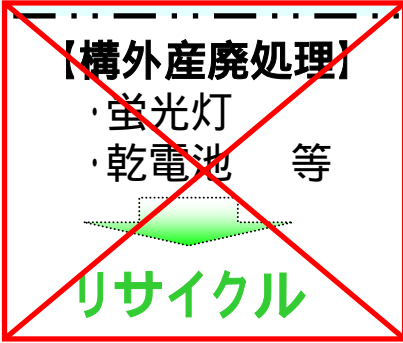


高周波誘導加熱の概要

「放射線管理区域からの物品搬出」の対策

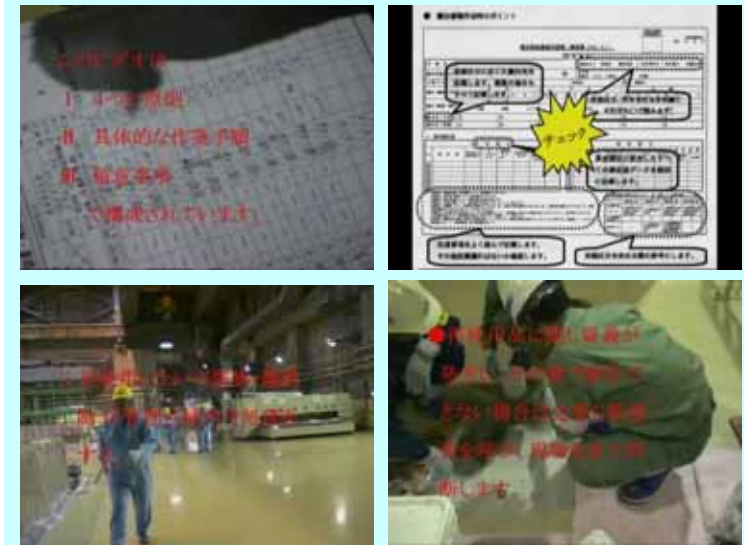


- 廃棄物の搬出禁止
- 廃棄物の低減
- 再利用化の促進



【対策例】

説明用のビデオ



- 現在、全ての搬出確認測定に社員が立会い
- 今後は、搬出確認測定後の最終確認を実施すると共に、パトロールでプロセス管理を行う予定



- 構内保管物品は、社員の立会いの下で保管容器に収納
- 保管後も、構内保管の管理状況を確認



品質マネジメントシステム改善に向けた取り組み

- 要求事項(ルール)の明確化
- 発電所全体のマネジメントシステム構築
- 調達管理、不適合管理等の改善



物品搬出問題 等

< 具体的取り組み >

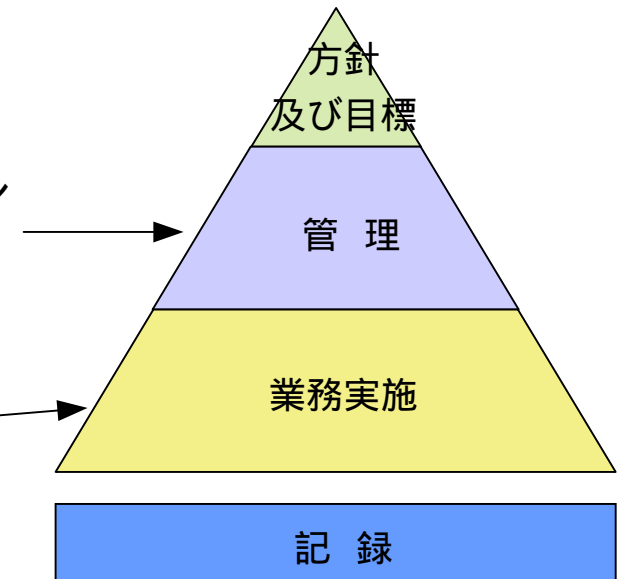
- 品質方針及び品質目標の策定
- 品質マニュアル(「原子力品質保証規定」、「発電所品質保証計画書」)の制定、施行。
- 品質マニュアルを頂点とした文書体系の整理。

JEAC4111及びISO9001が要求する管理のマニュアル
 発電所内プロセスの効果的な計画、運用及び管理を
 確実にするためのマニュアル

要領、手引き、手順書等



ISO9001認証取得



作業管理・環境改善に向けた取り組み

- パートナースhip委員会
発電所設備 / 運営に対する協力企業さんの意見・要望について審議
- 作業班長リーダーシップ研修
現場を扱う作業班長とのコミュニケーション促進
- 横断的な現場パトロールの実施
現場の4S(整理・整頓・清掃・清潔)、設備状況、物品保管状況について横断的なパトロール
- 作業管理改善検討会 合同推進チーム
現場パトロール、現場インタビュー等を通じた現場作業管理上の問題点の抽出と改善
- 品質・安全部(品質管理G)の設置
実施部門とは独立した観点から現場作業の品質を確認
- 定検工事事務所の設置
より現場に密着した定検期間中の作業管理を実施するために、プラント建屋内に事務所を設置予定



合同推進チームの活動

当社・協力企業合同の清掃

情報公開の徹底と原子力再生活動について

(1). 情報公開の徹底

公表区分		事象の概要	公表方法	
			プレス発表	ホームページ
区分	夜間・休祭日を問わず、すみやかに公表	法律に基づく報告事象等の重要な事象		
区分	休祭日を問わず、公表夜間の場合は、翌朝準備が整い次第公表	運転保守管理上、重要な事象		
区分	毎日(平日)、不適合事象を取りまとめて公表	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	ホームページへの掲載をお知らせ	

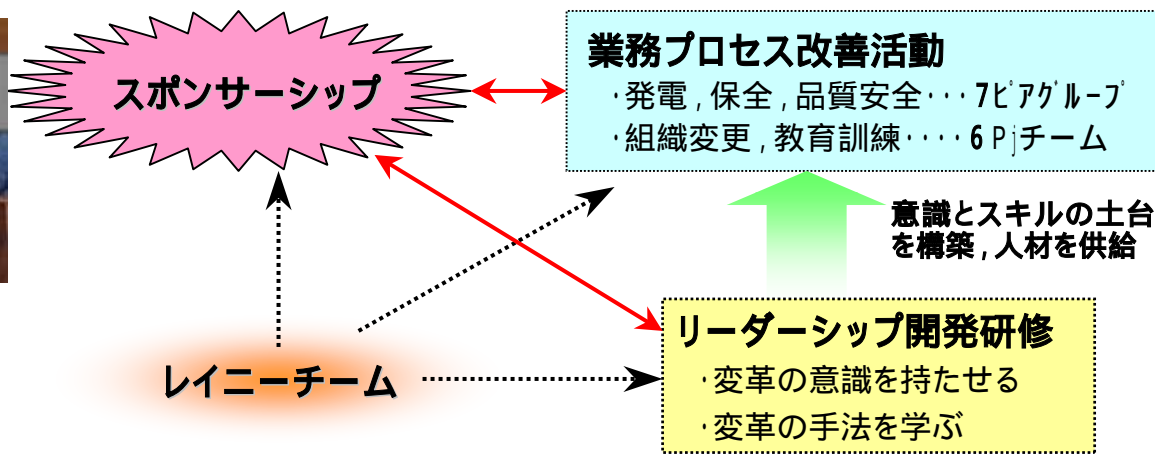
- : 夜間・休祭日を問わず実施
- : 休祭日を問わず実施。夜間の場合は翌朝準備が整い次第実施
- : 前日に発生した不適合事象を、翌日(平日)の夕刻に取りまとめて実施



1. As, Aグレード

1. As, Aグレード (Asグレード)		2件
発生日	号機	件名
2004/2/3	7	調整運転中の柏崎刈羽原子力発電所7号機における運転上の制限の逸脱について 《概要》 非常用炉心冷却系の1つである原子炉隔離時冷却系の機能検査を実施中のところ、機器の復旧操作において原子炉隔離時冷却系タービン蒸気加減弁の不具合が確認され、原子炉隔離時冷却系の動作が正常であると確認出来ないことから、保安規定に定める運転上の制限を満足していないものと判断しました。 非常用炉心冷却系はその他に高圧注水系2系統および自動減圧系など多重性を有していることから、安全性に問題はありますが、保安規

(2). 原子力再生活動の推進



原子力関連部門の改編後の組織

従来の「立地地域本部」「原子力本部」「原子力発電所」を統合し、
新たに「**原子力・立地本部**」を設置

- 原子力部門全体の**品質保証・安全確保**の一層の充実
- 発電所の**支援機能**の強化
- 立地・原子力両部門が一体となった**地域共生への取り組み**の推進

